

互いの声を聞き合う意義を実感 村内外で住民懇談会を開催しました

具体的で貴重な情報共有がありました。

9月3日・4日・10日に住民懇談会を開きました。コロナ禍の影響で開催が見送られてきた懇談会ですが、今回は日時を分け感染防止の対策を講じて実施することができました。のべ約100人の村民が参加し、対話を通して課題を共有した他、村政のさまざまな分野に提案をいただきました。



交流センター「ふれ愛館」。数多くの発言をいただき充実した懇談会となりました。

初回は「ウィル福島アクティおろしまち」(福島市)で、2回から4回目は交流センター「ふれ愛館」で、5回目は「かしま交流センター」(南相馬市)で開催しました。懇談の時間を確保するため、村政方針と事業の説明は要点に留め、詳しくは配付資料で補完。懇談では、事業の進め方や課題への対応について、数多くの質問、意見、要望をいただきました。また、村づくりに対する具体的な提案も相次ぎ、将来を見据えた意義深い対話が続きました。

要望・提案などは各課に伝達され、着手可能なものから改善が検討されています。



9月10日、「かしま交流センター」会場。



9月3日、「ウィル福島アクティおろしまち」会場。

〈編集後記〉

●通勤路を通るたび、黄金色に色付いていく稲穂。晴れの日の青空とのコンビは、思わずカメラを向けたくなるような景色です。村内には、見惚れてしまうような四季折々の景色が、たくさんあります。まだまだひそむ村の魅力も、広報紙を通して、村のイベントを通して、多くの方に知っていただくのが、この頃です。(星)

●取材の機会を通して、飯館村にはなんてたくさんの人の想いがあふれているのだろうと感激をしたひと月でした。暮らす人も、訪れる人も、離れて暮らす人も、想っている。日々色づいていく里山の景色にも、みんなの想いが宿っているように感じています。(星)

だけるよう、走り続けます。(菅野)

Native Speakers

ネイティブ・スピーカーズ
飯館言葉の達人たち

第18回



その意味は…

かがらしくって
しかも
じゃんがぶ?

スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

または検索で!

飯館村 YouTube